

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|---|-------------------|-----------------|
| 科目名 | 地域計画特論A (Special Lecture of Regional Planning A) | | |
| ナンバリングコード | R20213 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 環境情報学専攻 / 標準レベル |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 1年 / 前期 |
| 必修・選択区分 | 選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | M006101 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 菅 雅幸 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 各項目ごとにレポートの提出をしてもらいます。提出と提出内容によって成績を判断しますので、必ず提出してください。 | | |
| 教科書 | デザイン・ウィズ・ネチャー | | |
| 参考文献及び指定図書 | テキスト ランドスケープデザインの歴史、知覚環境の計画 | | |
| 関連科目 | 地域計画特論B | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|---------------------------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | | | | |
| 【知識・理解】 | 地域計画に必要な知識と研究事例を基に地域を理解できる。 | | 50点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | | | | |
| 【思考・判断・創造】 | 身近な社会問題に対して、講義で扱う計画手法を応用できるかどうかを検討する。 | | 50点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|--|--|
| 各項目ごとに課題を作成し提出をもらいます。提出と提出内容によって成績を判断しますので、必ず提出してください。 | |

| ○基本情報 | | | | | | | |
|------------------|--|-----------|--------|----------------|---------|-----------------|-------------|
| 授業の目的 | 環境に対する問題意識が高まり始めた1970年代を皮切りに現在までに起きた事象を解説、ビッグデータ等を使ったGIS(地理情報システム)により、今では容易に環境の分析が行えるようになった経緯を理解することを目的としています。 | | | | | | |
| 授業の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションについて、ローレンス・ハルプリンの仕事を基に学修する。 ・イメージマップを作成する方法を、ケビン・リンチの手法を基に学修する。 ・都市環境デザインを生態学的なアプローチ手法によって、分析している、イアン・マクハーグの手法を学修する。 ・地球環境の変化について、経済的な視点から取り組んだ、レスター・ブラウンの考え方を学修する。 | | | | | | |
| 授業の運営方法 | <table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「プレゼンテーション」</td> </tr> </table> | (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | (3) アクティブ・ラーニング | 「プレゼンテーション」 |
| (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | | | | | | |
| (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | | | | | | |
| (3) アクティブ・ラーニング | 「プレゼンテーション」 | | | | | | |
| 地域志向科目 | カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | | | | | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 菅 雅幸 本授業の設計に関する実務経験として設計事務所で設計業務に従事。 | | | | | | |

| ○その他 |
|------|
| |

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 地域計画特論A (Special Lecture of Regional Planning A) 菅 雅幸 | 授業コード | M006101 |
|--|-------------|--|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 1. ランドスケープデザインの歴史1 テキスト ランドスケープデザインの歴史 7章 1960年～1970年をベースとして、これからすすめる本講義のプラットフォームを解説します。 リノベーションの手法について、ローレンス・ハルプリンによる実践を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 2. ランドスケープデザインの歴史2 テキスト ランドスケープデザインの歴史 7章 1960年～1970年をベースとして、これからすすめる本講義のプラットフォームを解説します。 リノベーションの手法について、ローレンス・ハルプリンによる実践を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 3. ランドスケープデザインの歴史3 テキスト ランドスケープデザインの歴史 7章 1960年～1970年をベースとして、これからすすめる本講義のプラットフォームを解説します。 リノベーションの手法について、ローレンス・ハルプリンによる実践を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 4. ランドスケープデザインの歴史4 1～3回目までの講義内容を基にした、課題を作成し、提出してもらいます。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 5. コンテクスチャリズム1 テキスト ランドスケープデザインの歴史 8章 1970年～1980年をベースにして、コンテクスチャリズムについて、ケヴィン・リンチの「都市のイメージ」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 6. コンテクスチャリズム2 テキスト ランドスケープデザインの歴史 8章 1970年～1980年をベースにして、コンテクスチャリズムについて、ケヴィン・リンチの「都市のイメージ」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 7. コンテクスチャリズム3 テキスト ランドスケープデザインの歴史 8章 1970年～1980年をベースにして、コンテクスチャリズムについて、ケヴィン・リンチの「都市のイメージ」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 8. コンテクスチャリズム4 5～7回目までの講義内容を基にした、課題を作成し、提出してもらいます。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 地域計画特論A (Special Lecture of Regional Planning A) 菅 雅幸 | 授業コード | M006101 |
|--|-------------|--|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 9. 都市環境デザイン1 環境問題に対する一方策として「生態学決定主義」によるアプローチを提案した、イアン・マクハーグの「デザイン・ウィズ・ネイチャー」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 10. 都市環境デザイン2 環境問題に対する一方策として「生態学決定主義」によるアプローチを提案した、イアン・マクハーグの「デザイン・ウィズ・ネイチャー」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 11. 都市環境デザイン3 環境問題に対する一方策として「生態学決定主義」によるアプローチを提案した、イアン・マクハーグの「デザイン・ウィズ・ネイチャー」を基に解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 12. 都市環境デザイン4 9～12回目までの講義内容を基にした、課題を作成し、提出してもらいます。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 13. 地球環境の変化1 地球環境の変化について、経済的な視点から取り組んだ、レスター・ブラウンの「エコ・エコノミー」を基にして解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 14. 地球環境の変化2 地球環境の変化について、経済的な視点から取り組んだ、レスター・ブラウンの「エコ・エコノミー」を基にして解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 15. 地球環境の変化3 地球環境の変化について、経済的な視点から取り組んだ、レスター・ブラウンの「エコ・エコノミー」を基にして解説します。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |
| 16. 地球環境の変化4 13～16回目までの講義内容を基にした、課題を作成し、提出してもらいます。 | | | | |
| 予習 | | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | 約2時間 |